



10月5日(日)体育大会 みんな力を出し切りました！

天候により1日延期、プログラム順の変更など急な対応となりましたが第4回吉野さくら学園体育大会を開催することができました。来賓の皆さま。保護者の皆さま。地域の皆さま。お忙しい中、来校してくださりありがとうございました。精一杯の力を出して競技をし、声援を送り、積極的に係活動をする子どもたちの姿をご覧いただけたと思います。

残暑厳しい中、体育大会の成功に向けて張り切る子どもたちを健康面で支えてくださった保護者の皆さま。学校周辺、通学路周辺の環境を整えてくださった地域の皆さま、地域ボランティアの皆さま。体育館トイレを磨き上げてくださった、「なかよしの掃除に学ぶ会」に参加してくださった皆さま。本当にありがとうございました。2学期は、1ヶ月が過ぎたばかりです。今後もご支援ご協力いただきますようお願いいたします。

限界突破～協力∞感謝∞努力∞～

今年度の体育大会のスローガンです。生徒会、児童会が中心になって決めました。担任の先生や学年担当の先生方は、教室での話や学級通信を通じて、このスローガンに込められた思いを子どもたちに伝えていました。

みんなが力を出して、いい体育大会にしようと取り組んだこの1ヶ月。思い通りに進んだこと、思い通りに進まなかつたこと、それたくさんあったことだと思います。どんな場面に出会っても、「限界突破～協力∞感謝∞努力∞～」のスローガンを達成することを目指していましたね。たくさんの∞の力を見せてもらいました。感じさせてもらいました。

そんな場面をいくつか紹介します。

【伝統をつなぐ】

- ・中学生の「吉中ソーラン」と小学校高学年の「つなぐ」は吉野さくら学園の伝統種目です。上級生から下級生へ表現の振り付けとともに、この表現を演じ続けた先輩方の思いも伝えます。今年度も中学校3年生が中学校1,2年生へ、小学校6年生が小学校5年生へ、伝統を伝える活動が見受けられました。
- ・体育大会の一場面をイメージしたたくさんの小旗と大きなスローガンは、小学校1,2年生。見やすく、わかりやすい模造紙大の体育大会プログラムは、小学校3,4年生。赤組、白組の応援うちわは小学生全員。中学校クラスごとの応援旗は中学生。各学年でできることを考えて、作品作りでも体育大会を盛り上げています。リーダー的立場として、みんなとともに取り組んだ人もいたことでしょう。体育大会に華を添える作品作り。これも本校の伝統です。

【環境を整える】

- ・役割分担して体育大会の準備を進めました。自分の役割の準備が早く終わった人は運動場の草引きをしている先生を見つけ、一緒に草引きを始めました。体育大会直前には、児童生徒職員総出で草引きをしました。
- ・体育大会のために大きなテントを12棟立てます。倉庫から安全にテントの支柱と屋根カバーを運び、決められた場所で安全にテントが立ち並びました。テント内に並べる椅子も、安全に運びました。みんなの力がここでもきっちりとぴったりと集まり、いい準備ができました。
- ・9月1日からこれまで、トイレのスリッパがわりとよく揃っています。先日、トイレのスリッパをきれいに揃えている人を見かけました。ありがとうございました。ものが揃うと、心も揃うと私は思っています。普段の生活を通して、体育大会に向けての心を揃えようとしている皆さんを、誇りに思います。

【憧れの気持ち】

- ・中学生のリレーは、ダイナミックです。大きな体の動き、走るスピード感等、勢いがあります。そんな姿を応援席で真近に見た小学生。「はやっ。」「すごっ。」と声を漏らしていました。
- ・中学生と小学生が一緒に競技する3つの交流種目の一つは、中学校3年生と小学校1,2年生の組み合わせです。体格も、一步の歩幅も大きく違う小学生と中学生がペアを組んで競技します。一生懸命の小学生。支える中学生。なんとも微笑ましい光景です。

【持てる力を出す】

- ・途中で転んでも、行く場所を間違っても、リレーバトンパスが失敗しても、立ち上がり、諦めずに前に前に進もうとする姿。そんな一生懸命の姿に対して一生懸命の応援を送る。一生懸命な姿は本当にかっこいいです。自分は、自分が思っているよりもすごい自分だと、今まで知らなかつた自分を発見できたのではないか。

○校長より吉野さくら学園の皆さんへ

私は9月下旬に喉を痛めてしまい、約1周間声を出しにくかったです。体育大会予行のあいさつは、放送委員会の人に代読してもらわなければなりませんでした。そんな私に、大丈夫ですか。声は出せるようになりましたか。等、たくさんの方をかけてくれたこと、本当にうれしかったです。相手を気遣うやさしさあふれるみなさんに、感謝、感謝です。